

Takemi Nishimoto

NEOLOGISM 23171-23199



TEZUKAYAMA GALLERY | MAIN GALLERY 2025年3月22日(土) - 4月19日(日)

この度、TEZUKAYAMA GALLERYでは、西本剛己(にしもと・たけみ)の個展「NEOLOGISM 23171-23199」を開催いたします。西本は1988年に筑波大学大学院芸術研究科を修了後、アーティストとして制作活動を開始しました。また、教育者としても芸術・デザイン分野で数々の業績を上げてきました。西本が教授を務める明星大学では、デザイン学部の立ち上げにも関わり、様々な学問領域を横断した視点で、将来の人材育成にも取り組んでいます。

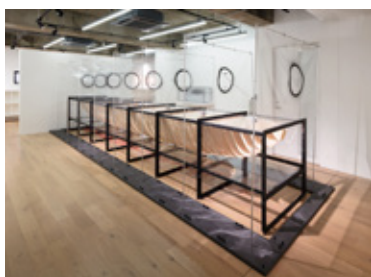
1989年の初個展「NEOLOGISM/ネオロギズム」の開催から現在に至るまで、西本は鑑賞者を哲学的な思考の世界へと誘う高い造形力で作品を生み出してきました。NEOLOGISM(ネオロギズム)とは「教義の新解釈」または「人が眉をひそめるような新造語」を指し示す言葉であり、精神医学の分野では、分裂症(統合失調症)の患者に見られる「言語新作癖」にも当てはまります。西本は「その不条理な行為は芸術の欲動と限りなく近い」と語っており、この不条理という概念は彼の作品においても一貫したテーマとなっています。

不条理に対する解釈は時代によってさまざまですが、哲学における一般的な定義では、「人間の存在や人生の意味、目的を求める努力」に対し、「宇宙や世界が冷徹なまでに無関心である姿勢を貫き、応じることはない」という理不尽な対立構造から生じる概念とされています。西本が高校生の時から親和性を感じていたフランスの小説家アルベール・カミュ(1913-1960)の著作も、この不条理という概念によって特徴付けられることで知られています。しかし、カミュの不条理観では、前述の考え方を前提にしつつも、その現実や運命から目を背けず、反抗する姿勢こそが人間の存在価値を見出す鍵であると説いています。

西本はこの考え方に深く共感しており、意味が提示されない世界を不条理だと嘆くのではなく、その状態こそがこの世界の真理であり摂理であると捉え、観察し、味わい尽くすことこそが重要だと考えています。そして、この探求こそが西本を制作へと駆り立てる動機となり、やや難解に感じさせながらも鑑賞者を惹きつけ、言語を超越した魅力を放つ作品へと昇華させているのでしょう。

2021年に開催したTEZUKAYAMA GALLERYでの初個展では、大型の彫刻作品「ディスタンス 21497」を発表しました。コロナ禍において、未曾有の感染拡大により世界が分断され、あらゆる距離感に対する再考、繋がり脆弱さといった問題が顕在化しました。西本は本作を通して、社会全体を覆っていた閉塞感を記念碑として造形するだけでなく、これまでの価値観や社会のあり方が刷新された「その後の時代」を迎えるための蛹(さなぎ)の時期、あるいは、そこに到達するための方舟というイメージをメタファーとして組み込みました。

TEZUKAYAMA GALLERYでの約4年ぶりとなる本展では、新作の「カリギュラ」、「カテドラル」、「謁見(えっけん)」などを中心にご紹介いたします。是非、この機会にご高覧下さいませ。



*1



*2



*3



*4

西本 剛己

1961 東京都生まれ

1988 筑波大学大学院芸術研究科 修了

主な個展

- 2023 「NEOLOGISM 22654-22674 XENO(異配)」 | M画廊, 栃木
- 2022 「NEOLOGISM 22303-22324 AWE」 | MARUEIDO JAPAN, 東京
- 2021 「NEOLOGISM 21714-21743」 | TEZUKAYAMA GALLERY
- 2019 「NEOLOGISM II 30年後の帰還」 | M画廊, 栃木
- 2016 「The Fault」 | 秋山画廊 (M画廊主催), 東京
- 2014 「M画廊25周年記念: 西本剛己」 | M画廊, 栃木
- 2012 「ECLIPSE (触) 2」 | M画廊, 栃木
- 2009 「ECLIPSE (触)」 | M画廊, 栃木
- 2003 「西本剛己-静かな部屋」 | INAXギャラリー, 東京
- 2001 「SPO 3」 | M画廊, 栃木
「M氏コレクションによる西本剛己展」 | スペースU, 群馬
- 2000 「SPO 2」 | 23ギャラリー, 東京
- 1999 「SPO」 | M画廊, 栃木
- 1998 「figure7/0」 | M画廊, 栃木
- 1997 「聖告: 12938-12959」 | オレゴンムーンギャラリー, 東京
- 1995 「聖告: 読書の中断」 | かねこアートギャラリー, 東京
- 1994 「PCUN 宣言」 | Gアートギャラリー, 東京
- 1992 「まだら牛: 種族記憶」 | 秋山画廊, 東京
「クリテリオム」 | 水戸美術館, 茨城
- 1991 「まだら牛: DOMESTIC」 | Gアートギャラリー, 東京
- 1990 「まだら牛: 図書保管所」 | かねこあーとG1, 東京

主なグループ展, アートフェア

- 2019 「ART in PARK HOTEL TOKYO 2019」 | パークホテル東京, 東京
- 2018 「ART in PARK HOTEL TOKYO 2018」 | パークホテル東京, 東京
- 2017 「ART in PARK HOTEL TOKYO 2017」 | パークホテル東京, 東京
- 2016 「ART in PARK HOTEL TOKYO 2016」 | パークホテル東京, 東京
- 2008 「05'-07' 板橋の作家」 | 板橋区立美術館, 東京
- 2007 「DEBLI セレクトアーティスト5人展」 | ギャラリールデコ, 東京
- 2005 「02'-04' 板橋の作家」 | 板橋区立美術館, 東京
「光と風の庭-群・棲」 | 「愛・地球博」瀬戸日本館, 愛知
- 2004 「幽ART2004」 | 大原幽学史跡公園, 東京
- 2002 「99'-01' 板橋の作家」 | 板橋区立美術館, 東京
「思想の図書館」 | SK画廊, 杉並区役所, 東京
- 2001 「仮説芸術 abduction」 | ParaGLOBE, 東京
- 1995 「実験展・2」 | M画廊, 栃木
- 1992 「それぞれの箱もしくは・のようなもの」 | M画廊, 栃木
「Emerging Artists from Japan」 | White Columns, New York, U.S.A.
「インスタレーションエイジ」 | 東京都写真美術館, 東京

Takemi Nishimoto

1961 Tokyo, Japan

1988 MFA, Tsukuba University, Ibaraki

SELECTED SOLO EXHIBITIONS

- 2023 'NEOLOGISM 22654-22674 XENO' | M Gallery, Tochigi
- 2022 'NEOLOGISM 22303-22324 AWE' | MARUEIDO JAPAN, Tokyo
- 2021 'NEOLOGISM 21714-21743' | TEZUKAYAMA GALLERY, Osaka
- 2019 'NEOLOGISM II' | M Gallery, Tochigi
- 2016 'The Fault' | Akiyama Gallery (Organized: M Gallery), Tokyo
- 2014 'M Gallery, 25th Anniversary' | M Gallery, Tochigi
- 2012 'ECLIPSE 2' | M Gallery, Tochigi
- 2009 'ECLIPSE' | M Gallery, Tochigi
- 2003 'Silent Room' | INAX Gallery, Tokyo
- 2001 'Mr.M's Collection' | Space U, Gunma
'SPO 3' | M Gallery, Tochigi
- 2000 'SPO 2' | 23 Gallery, Tokyo
- 1999 'SPO' | M Gallery, Tochigi
- 1998 'figure7/0' | M Gallery, Tochigi
- 1997 'Annunciation: 12938-12959' | Oregon Moon Gallery, Tokyo
- 1995 'Annunciation: Interruption of Reading' | Kaneko Art Gallery, Tokyo
- 1994 'PCUN Declaration' | G Art Gallery, Tokyo
- 1992 'Criterium' | Art Tower Mito, Ibaraki
'Pied Cow: Memorial' | Akiyama Gallery, Tokyo
- 1992 'Pied Cow: Domestic' | G Art Gallery, Tokyo
- 1990 'Pied Cow: Archives' | Kaneko Art G1, Tokyo

SELECTED GROUP EXHIBITIONS, ART FAIRS

- 2019 'ART in PARK HOTEL TOKYO 2019' | Park Hotel Tokyo, Tokyo
- 2018 'ART in PARK HOTEL TOKYO 2018' | Park Hotel Tokyo, Tokyo
- 2017 'ART in PARK HOTEL TOKYO 2017' | Park Hotel Tokyo, Tokyo
- 2016 'ART in PARK HOTEL TOKYO 2016' | Park Hotel Tokyo, Tokyo
- 2008 'Artists in Itabashi' | Itabashi Art Museum, Tokyo
- 2007 'DEBLI: Five Slected Artists' | Gallery le Deco, Tokyo
- 2005 'Reflections' | 2005 World Exposition, Aichi
'Artists in Itabashi' | Itabashi Art Museum, Tokyo
- 2004 'U-Art 2004' | Ohara Yugaku Muesum, Chiba
- 2002 'Artists in Itabashi' | Itabashi Art Museum, Tokyo
'Library of Thought' | SK Gallery/Suginami City Office, Tokyo
- 2001 'Abduction' | ParaGLOBE, Tokyo
- 1995 'Experiment 2' | M Gallery, Tochigi
- 1992 'Each Box or Something Like That' | M Gallery, Tochigi
'Emerging Artists from Japan' | White Columns, New York, U.S.A.
'Installation Age' | Tokyo Metropolitan Museum of Photography, Tokyo

□ 作品 | Artworks



ネオロギズム思考のためのカードホルダー 22617 (2023)
古いカードホルダーに文字スタンプ、鉄板、他/H180 × W280 × D280 mm



飼育具 22634 (2023)
切断したバンドソーの刃、携帯用医療具、木に鉛シート、他/H270 × W350 × D80 mm



(L to R)
薄氷 19864 (2016)
包帯、鉛シート、ワイヤー、磁石、板ガラス、他
H1020 × W440 × D280 mm
Photo: Hyogo Mugyuda

関係 21187 (2019)
恩師が食し鉛で覆った種子、焼いた鳥籠のベース、モルタル、他
H430 × W250 × D120 mm
Photo: Hyogo Mugyuda

□ 展覧会情報 | Exhibition Information

西本剛己 | Takemi Nishimoto

NEOLOGISM 23171-23199

2025.3.22 Sat - 4.19 Sat

営業時間: 火 - 土 12:00 - 19:00 | 休廊日: 日曜日・月曜日・祝日
OPEN: Tue - Sat 12:00 - 19:00 | CLOSED: Sunday, Monday and Holiday
お問合せ: info@tezukayama-g.com / 岡田 (TEZUKAYAMA GALLERY)

TEZUKAYAMA GALLERY

〒550-0015 大阪市西区南堀江1-19-27山崎ビル2F
Yamazaki Bldg. 2F, 1-19-27 Minami-Horie, Nishi-ku, Osaka, 550-0015 JAPAN
t: +81 6 6534 3993 | e: info@tezukayama-g.com

